

衣笠山からの便り

第114号 令和6年3月15日発行
発行元 社会福祉法人心の会 理事長 若山 三千彦
住所 〒238-0026 横須賀市小矢部4-19-4
電話 046-850-3301 (法人本部)
ファックス 046-852-4040



- ◎さくらの里 (デイサービス・ケアマネ) 小矢部4-19-4 TEL852-0500
- ◎さくらの里山科 (特別養護老人ホーム・ショートステイ) 太田和5-86-1 TEL857-6333
- ◎さくらの家一番館 (高齢者グループホーム) 小矢部4-17-4 TEL852-2011
- ◎さくらの家二番館 (高齢者グループホーム) 小矢部4-15-8 TEL850-3125
- ◎さくらの家三番館 (高齢者グループホーム) 小矢部4-15-7 TEL850-5688
- ★さくらグループHP <http://sakura2000.jp/>
- ◎あすなろ学苑 (障害者就労継続支援B型事業) 小矢部4-19-4 TEL852-0600
- ◎あすなろの家 (知的障害者グループホーム) 第1・2・3・5・6・7・8 横須賀市内 TEL850-3301 (法人事務局)
- ◎相談室あすなろ (衣笠障害者相談サポートセンター) 公郷町2-7-19 コワ衣笠ビル1階 TEL853-3415
- ★あすなろ学苑HP <https://asunarogakuen.com/>
- ◎まちの診療所つるがおか (地域支援型診療所 内科在宅診療部他) 鶴が丘2-3-9 TEL825-5121

さくらの家一番館の廃止 あすなろの家の再編成



令和6年2月末をもって、グループホームさくらの家一番館を廃止しました。さくらの家一番館は、介護保険法施工前に開設したもので、制度上不利になる体制となっていたためです。諸物価高騰と介護職員不足の状況において介護の質を維持するためには、経営の効率化が避けられないことでした。

なお、一番館のご入居者様は全員、二番館、三番館及び特別養護老人ホームさくらの里山科に転居して頂きました。法人外への退去をお願いした方は一人もおりません。

一番館は、1999年10月、私共法人の最初の事業としてスタートして以来、25年近く、法人のシンボルとなっておりました。それがなくなるのは、残念で仕方ありません。しかし、一番館が築いてきた介護の精神は、二番館、三番館にしっかり受け継がれており、これからますますさくらの家は発展するものと確信しております。

一番館の建物は、障がい者グループホームあすなろの家の一つとなります。あすなろの家のご入居者様も高齢化が進んでおり、介護が必要な方もおります。そのような方に、元一番館の建物に転居して頂き、介護も行う障害者グループホームとします。それに伴い、現在7軒あるあすなろの家は、5軒体制へと再編成します。

ペットと暮らせる特養から

サンタ君は虹の橋へ

トイプードルのサンタ君が1月、虹の橋へ旅立ちました。享年14歳。2017年に飼い主さんと同伴入居し、6年以上の歳月を、さくらの里山科で過ごしました。これからは虹の橋から飼い主さんを見守ってくれることでしょう。



法人施設活動報告：あすなろの家

知的障害者グループホーム

第一（小矢部）・第二（小矢部）

第三（小矢部）・第五（若宮台）

第六（平作）・第七（武）・第八（太田和）



介護ができる障がい者グループホーム

これまであすなろの家は、7つの建物で合計35名のご入居様が暮らしていました。その合計定員35名は変えずに、建物を3つ減らし、新たに元さくらの家一番館の建物を加え、5つの建物を使う形に再編成します。



元さくらの家一番館の建物は、新しい第3あすなろの家となり、11名が暮らすこととなります。78歳のご入居様を筆頭に、6名の70代の方がおります。また、60代でも介護が必要な方もおります。

元々高齢者のグループホーム、さくらの家として使っていた建物なので、バリアフリー構造で車いすで生活できるようになっています。それを活かして、軽度から中度の介護に対応できるホームとします。

これからは、各あすなろの家で暮らしている方が、介護が必要になった際には第3あすなろの家に転居して頂きます。そして、重度の介護が必要になったら、法人内の特養ホームさくらの里山科に転居して頂きます。こうして、障がいをもつ方を一生涯ケアできる体制を作りました。

法人施設活動報告：あすなろ学苑

就労継続支援B型事業



あすなろ学苑の紹介動画をアップ

横須賀市障害関係施設協議会のホームページで、市内で障害者福祉施設を運営する17法人の紹介動画が公開されています。

施設を利用したい方はもちろん、施設で働きたい方、地域の方向けに、各施設の日々の活動が視聴できます。

あすなろ学苑も、作業の様子、余暇の様子、苑生さんへのインタビューを5分程度でまとめています。

あすなろ学苑の紹介動画は、上のQRコードで見れます。あすなろ学苑らしさ溢れる素敵な動画に仕上がっていますので、皆さんぜひ見て下さい。



法人施設活動報告：相談室あすなろ

衣笠障害者支援センター
相談室あすなろ



特別支援学校との連携

室長：岸川江利子

春は卒業の季節ですね。この時期になりますと毎年、特別支援学校等から社会に飛び立つ方々の相談の引継ぎがあります。これまでは、「学校」という枠組みを中心に生活をしていましたが、障がいを持つ方の多くが、進学より就職を選ばれます。学校の枠組みから外れるのです。

一般就労される方、障害者雇用で仕事される方、通所等の福祉サービスを利用しながら生活される方等、様々な進路がありますが、これまで学校や放課後等デイサービスで支援を受けていた方々が、全く別の支援者と関わることとなります。とても大事な節目の時期ですので、地域の相談室としては、ご本人及びご家族様にできるだけ安心して、切れ目ない支援が継続されるよう丁寧に対応していきたいと思っております。地域の方々にも、温かい目で迎えていただけたら嬉しく思います。



法人施設活動報告：さくらの家

高齢者グループホーム
一番館、二番館、三番館



河津桜ドライブと苺大福

2月には、さくらの家各館が、河津桜を見るドライブに行ってきました。

三浦海岸の河津桜並木は、桜のピンク色と、その根元に咲く菜の花の黄色が、見事なコントラストとなっており、皆様歓声を上げていました。

帰りに観光イチゴ農園に寄って、苺大福を買ったフロアもあり、こちらも大歓声が上がりました。



法人施設活動報告：さくらの里デイサービス



衣笠神社初詣

地元、衣笠神社への初詣外出が復活しました。2020年以来、4年ぶりの初詣外出です。

しばらく来れなかった間に、衣笠神社の鳥居には、お正月の間、大きな茅の輪が取り付けられるようになっていました。せっかくの縁起物ですので、階段を歩ける方には、職員が付き添って輪くぐりをして頂きました。お客様の喜びの音が響き、楽しい外出行事の復活を実感できました。

法人施設活動報告：さくらの里山科

特別養護老人ホーム
ショートステイ



久里浜天神初詣 特養ホーム

さくらの里山科でも、初詣外出が復活です。各ユニットが、久里浜天神に行ってきました。

4年ぶりにホームの外に出たというご入居者様もあり、初詣だけでなく、街の雰囲気や、行き交う人々の活気などを感じて、楽しまれていました。



ワンちゃんとの触れ合い会 ショートステイ

昨年秋より、毎月2回、特養ホームで暮らしているワンちゃん達との触れ合い会を開催しています。参加希望者に、1階ホール（地域交流室）に集まって頂き、そこにワンちゃん達がやってきます。皆さん、とても喜んでくださいます。

法人施設活動報告：さくらの里ケアマネジャー



訪問介護の使い方①

ケアマネ部門管理者（主任）・神田恵美子

訪問介護（ホームヘルパー）の内容は2種類に分かれています。

掃除や洗濯、買い物など家事の部分を支援する生活介護と、オムツ交換や入浴介助などご高齢者様を直接介助する身体介護の2種類です。

生活介護は原則お元気なご家族と同居している場合は利用できません。一般的な家事を行うので、通常は週2回程度のご利用となります。身体介護は毎日ご利用される方も多いです。次回から、訪問介護の内容の詳細をお話しさせていただきます。





お腹の風邪とは

副院長；白井輝

「ハクシオン」は時と場所を選ばずに突然襲ってきます。接客中でも、会議中でも、容赦なく襲ってくるのです。まわりの人たちは、おもむろに顔を背ける人や苦笑いを浮かべる人などさまざまですが、英語圏ではくしゃみをした人に“Bless you”（神のご加護がありますように）と言う習慣があるようです。自然災害とも言える「ハクシオン」に対しては、顔を背けずに温かいまなざしを向けてあげたいものです。

現代病ともいわれている花粉症ですが、少なくとも50年前まではあまりなかったようです。高度経済成長期から徐々に増加し、最近の有病率は1990年台には20%前後でしたが2010年台には40%以上と、10年ごとにほぼ10%も増加しています。背景にある要因として、飛散する花粉の増加だけでなく、空気中の汚染物質や温暖化による環境変化、都会での生活環境などが指摘されています。つまり「ハクシオン」は単なる自然災害ではなく、人類が生活の利便性を追求した結果生み出した「文明病」ともいえるようです。

花粉症は花粉に対するアレルギーが原因です。この“アレルギー”とは体に侵入してくる異物を排除する生体防御のための免疫反応が過剰になりすぎて、身体に悪影響を及ぼしてしまうことです。治療法としては各種アレルギー薬（抗ヒスタミン剤など）による治療が基本ですが、眠気の来ない1日1回服用の薬が開発され、患者さんから好まれています。その他に、原因となる花粉に体を慣らしてアレルギー反応を起こさないようする舌下免疫療法なども最近注目されてきています。自らできる対策としては、マスク、メガネなどで花粉を防ぎ、帰宅時にはうがいや洗顔を中心に花粉を持ちこまないようにすることです。

最後に、くしゃみなどの鼻炎症状に加えて咽頭痛、咳、発熱などがある場合はコロナやインフルエンザなど感染症の可能性もありますので、積極的に医療機関を受診して下さい。

4月1日からの新体制

外来診療体制						
時間\曜日	月	火	水	木	金	土
9時～12時	○	○	×	○	○	△
15時～18時	×	×	×	×	○	×

※第1・第3土曜日の午前中は外来が閉じております。

※水曜日の往診は行います。

ご寄付の御礼とお願い

12月～2月の3ヶ月で、多数のご寄付を頂きました。貴重なご寄付ありがとうございました。

- ◎ 17名様から合計2, 800枚以上の紙マスクを頂きました。
- ◎ 15名様から合計5, 400枚以上の使い捨て手袋を頂きました。
- ◎ 41名様からペットフード、ペット用品のご寄付を頂きました。
- ◎ 18名様からタオル、オムツ、家具、衛生用品、食品等を頂きました。
- ◎ 24名様から合計929, 000円のご寄付を頂きました。



*複数回ご寄付を頂いた方、お一人で数種類のご寄付を下さった方は、重複してカウントしております。ご了承下さい。
※紙マスクと使い捨て手袋が不足しております。ご寄付頂けると助かります。よろしくお願い致します。使い捨て手袋は、ゴム製又はニトリル製で、Mサイズ又はLサイズの物をお願い致します。

※ご寄付は次の口座へのお振込みにてお願い致します。

① みずほ銀行 衣笠支店 普通口座 口座番号：1956146
口座名義 社会福祉法人心の会

② ゆうちょ銀行 口座記号：00280-5 口座番号：0048529
口座名義 社会福祉法人心の会

※ご寄付金については領収証をお送りしますので、法人本部までお知らせ頂ければ幸いです。社会福祉法人の寄付領収証は確定申告等にご利用頂けます。



よこすか犬と猫の病院

広告

診療時間 月～日(年中無休) 9時～12時、16時～19時 救急対応 21時～翌朝5時

横須賀市佐原 1-10-3(フジスーパー佐原店近く) 電話046-827-6092